

令和 5年 9月 29日
横浜市立笹野台小学校



笹小だより 10月号



「中間地点 ～ 前期が終わり後期へ～」

校 長 佐々木 和美

朝夕の気持ちのよい涼やかな風に、声高に鳴く虫の音に、風でかすかに揺れるススキや彼岸花、コスモスとセットで見る美しい月に、本格的な秋の深まりを感じる季節となりました。

笹野台小学校の北門近くには、ザクロや柿がたわわに実り、子どもたちが育てたゴーヤやサツマイモも大きくなっています。トマトやナス等の野菜はすっかり収穫済です。

さて、笹野台小学校の子どもたちは、4月からこれまで様々な教育活動を通して多くのことを学びました。日々の学習はもちろんのこと、宿泊体験学習や校外学習等の特別な行事や活動で、友達と学び合い高め合ってきました。ずっと席に座って講義形式の話を聞くだけの学習よりも、同年代の友達と意欲的に自分の考えを伝え合い、話し合うことでより学力は向上します。そこで教職員は意図的に、子どもたちが興味・関心がもてるような課題を設定して自発的に調べたり、ペアやグループ、学級や他学年と対話形式での話合いやプレゼンを行ったりできるような場を整えてきました。4月から各教室の授業を参観してきましたが、子どもたちが笑顔で友達とやり取りをしたり、最初は緊張しつつも自分の考えを発表した後に満足そうにしたりしている姿が見られ、子どもたちの確かな学びがここにあると感じました。

10月はちょうど一年間の中間地点となります。前期の最終日、10月6日（金）に「あゆみ」をお渡しします。前期の自分を振り返り、何をどう努力したらよいのか自分なりに考え、後期に向けて学びを自己調整していけるとよいと思います。同じ目標を目指しても、また新たな目標を設定しても構いません。アプローチの仕方は一人ひとりみんな違います。自分にあった方法を試行錯誤しながら見つけ、目標に向けて尽力してほしいと思います。教職員も「あゆみ」をお渡しして終わりとは考えておりません。教職員にとっても評価は、一人ひとりの子どもに後期はどう指導すればより伸びるか方策を立てるために必要だと考えています。保護者の皆様には、お子さんが「あゆみ」を持ち帰りましたら、お子さんのよさをしっかり認めた後に、これから何をどう頑張ろうとしているのかをお子さんと共有し励ましていただけたらと思います。

10月6日（金）の前期終業式と10日（火）の後期始業式の間の休みは3日しかありませんが、子どもたちが心機一転この中間地点を折り返し、うまく心の切り替えができるよう、学校でも支援して参りますので、ご家庭でもお声掛けをお願いします。